

2018年
3月号
No.372

*いままでの号数がずれて
いますので調整します。

原水協長野

BULLETIN OF THE NAGANO COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

発行：原水爆禁止長野県協議会
〒380-0836
長野市南県町1099 西智ビル4F
TEL 026-235-6390
FAX 026-234-1528

核兵器禁止条約の批准求める 県議会が政府への意見書決議、県議会では全国2番目

長野県議会本会議は3月2日、日本政府と衆参両院議長宛に「核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書」を30対24の賛成多数で可決しました。

意見書は「信州・新風・みらい（社民・民進系）」と日本共産党の共同提案で提出されたもので、本会議で各議員の記名投票で採決が行われました。

賛成討論に立った共産党の藤岡義英議員は、県原爆被害者の会会長藤森俊希さんの国連会議での発言やノーベル平和賞授賞式への参列など、その

活躍ぶりを紹介し、「非核平和県民宣言」にも触れながら「本日、県議会として核兵器廃絶への大きな一歩の歴史的な日になることを願う」と発言しました。

政府に対し禁止条約への署名・批准を求める明確な内容

県議会の意見書では、禁止条約の内容に触れながら、「核兵器のない世界を求めてきた日本と世界の世論に誠実に応えるものであり、歴史的前進と言える」と評価し、「唯一の



3月の6・9行動の様子から

戦争被爆国である我が国には、率先して禁止条約に参加し、核保有国と非保有国の橋渡しを行うことが求められる」と、禁止条約への参加を求めています。

そして最後に「禁止条約への署名と批准の手続きを進めるよう強く要請する」と明確に述べています。

ヒバクシャ国際署名長野連絡会の請願を受けたもの

ヒバクシャ国際署名長野県推進連絡会は、県原爆被害者の会藤森会長を先頭に、すべての会派に「核兵器禁止条約への署名と批准を求める政府への意見書」提出を求める請願への賛同と紹介議員を依頼して回りました。その結果2月26日に「信州・新風・みらい」「共産党」ほか無所属会派の5人の紹介議員で請願書を提出していました。

前述の議員提案は、この請願を受けて会派間の話し合いの中で提出されたものです。署名連絡会の請願は、委員会に付託されますが、趣旨の意見書がすでに決議されていることから採択される見通しです。

県議会レベルでは、政府への意見書は岩手県に続いて2番目となります。

すべての地域・団体から必ず参加できるよう準備を！

○2018年国民平和行進長野県実行委員会

日時：4月22日（日）10：00～12：00

会場：長野市 高校教育会館4F中会議室

*2017年活動総括と2018年活動方針、決算予算など討議

*情勢に相応しい平和行進の市民的広がりを行うかなど
意見交換

○長野県原水協第62回総会

日時：4月22日（日）13：00～16：00

会場：長野市 高校教育会館4F中会議室

*2017年活動総括と2018年活動方針、決算予算、役員など決定

*ヒバクシャ国際署名を中心とした活動の交流と討議など

*日本原水協から講師を招いて学習講演会も行います。

各地域・団体の代表者・担当者だけでなく、複数の参加をお願いします。

日米政府へ「核態勢見直し」で抗議文送付

県原水協・非核の政府求める会・県平和委員会連名で

米トランプ政権は、小型化・近代化で「使いやすい核兵器」の開発と新たな前進配備をめざす核軍拡と核兵器使用政策を打ち出した「核態勢見直し（NPR）」を発表しました。アメリカのこの新たな政策転換は、北朝鮮の核ミサイル開発とアメリカの軍事的対抗政策で、特に東アジアで「核戦争の危機」が現実のものとなる情勢が高まっています。また日本への新たな核持ち込みの危険性も高まっています。ところが、日本政府は、このアメリカの危険な政策転換を「高く評価する」と歓迎の態度を表明しました。唯一の被爆国政府として決して許されることではありません。

この動きは、核兵器禁止条約への賛同が広がり、核兵器廃絶へと動き出している国際世論に真つ向から逆行するものです。この重大な事態に、県原水協・県非核の政府を求める会・県平和委員会は共同で、米トランプ大統領宛と安倍総理・河野外務大臣に抗議文を送付しました。

各地域・団体のとりくみ紹介

◎白馬・小谷の人口過半数をめざして

— 新日本婦人の会白馬支部からの通信 —

2015年NPT再検討会議に向け、前年から核兵器廃絶署名を本格化させました。Aコープ前と、村役場で月1回ずつ、1時間の行動が定着して、約1年間で白馬村・小谷村で2009筆を集め国連に提出しました。この経験を生かして、2016年からは、いまの「ヒバクシャ国際署名」に、9条の会とも共同してとりくんでいます。Aコープ前は月2回に増やしました。海外からのスキー客の増える冬場は英訳の署名用紙も用意して、「サイン プリーズ」と声をかけてとりくんでいます。

2020年までに白馬・小谷の人口過半数をめざして奮闘中です。(高橋英子)

【編集者コメント】

新婦人は全県で、各支部や班で地域に入る行動や街頭行動などを繰り返して、県原水協への集約も途切れることなく続いています。ヒバクシャ国際署名と9条改憲反対の3000万署名を「平和2署名」と呼んで結合してとりくんでいます。現在県原水協への集約数は12,678筆。目標は会員ひとり10筆36,000筆です。

◎岡谷で「三つの署名」推進へ学習交流集会

— 原水協・9条の会・市民連合の共同で —

岡谷原水協は、岡谷九条の会、おかや憲法9条を守る会との共催で、「二つの署名を推進する学習と交流集会」を開きます。二つの署名とは、「アベ9条改憲をとめる3000万署名」と「核兵器禁止ヒバクシャ国際署名」です。後援が安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める岡谷市民連合です。

3月3日(日)午後1時より、岡谷市インフプラザ・多目的ホールで開催、報告は、核兵器禁止条約成立の国連会議とICANノーベル平和賞授賞式に参加した藤森俊希さんと弁護士で岡谷九条の会代表委員の松村文夫さん、「お二人を囲んで、学習と署名活動の交流を」と呼びかけています。

【編集者コメント】

今の情勢と運動の課題にピッタリの学習会！原水協と9条の会そして立憲主義市民連合の共同が特徴。各地でこうした学習会を開きましょう。日本とアジア、世界の平和をめざす、その方向に逆行する安倍政権を倒す、そのために2署名の意義は重要です。2つの署名を結合して、唯一の戦争被爆国で、平和憲法9条を持つ国民として、非核平和の揺るぎない世論を圧倒的な署名の積み上げで示しましょう。

今年のビキニデー集会は2月27日(3月1日)、静岡と焼津で開催され、27日の国際交流会議は180人、28日の日本原水協集会は850人、1日のビキニデー集会は1800人で、意気高く今後の運動の飛躍を誓い合って終了しました。

長野県からは19人が参加しました。詳しい報告と参加者感想は次号で。

ビキニデー集会に長野県から
19名参加



原発の安全性を考える学習交流集会

3月25日(日) 原発ゼロ連絡会で

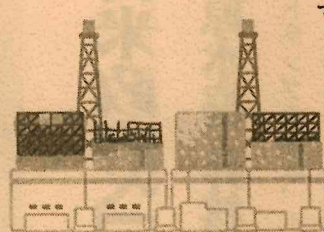
原発ゼロ・自然エネルギーへの転換を求める県連絡会は、3月25日(日)13:30~16:30、高校教育会館(長野市)で総会をかねて、学習交流集会を開催します。

講師は、元日本原子力研究所研究室長の等井篤さん、笠井さんは長野市出身で、原研入所以来、日本の原子力研究開発の創成期から原子力の安全性の研究を行ってきた方で、IAEA(国際原子力機関)の国際基準作りにも携わり、スリーマイル島、チェルノブイリ、福島原発事故も直接調査した研究者です。

講演では「原発の安全性を考える」をテーマに、原子力の基本から放射能の身体影響、原発安全審査・基準、原発事故などを分かりやすく解説します。

3・11などのとりくみ、各地の活動なども交流します。

参加費無料。多くの参加を呼びかけています。



青年たちが3・21平和の行動デー呼びかけ

「3000万署名」と「ヒバクシャ署名」を学んで広げよう

県民青同盟が、3月21日「平和の行動デー」を呼びかけています。県下の青年のみなさん、ぜひこの行動に大いに参加しましょう。

○ 3月21日(水・祝) 13時～17時

○ 第1部：パネルディスカッション (松本中央公民館Mウイング中会議室4-4)

パネリスト：前座明司さん(県原爆被害者の会・被爆2世)

梶原 渉さん(日本原水協事務局員)

○ 第2部：松本駅前署名宣伝行動 15時～

○ 参加希望者は下記に連絡を！

電話：026-224-5435 MAIL：dylj-nagano@h6.dion.ne.jp

国際的な緊張の高まる今をどうやって武力に頼らず解決していくのか？被爆の実相と「ヒバクシャ署名」「3000万署名」の役割を、パネリストの方から学び、参加者みんなで考えます！

